

第7回(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会 会議録

日時	令和6年8月27日(火) 10:00～12:00
場所	古河市役所 古河庁舎 特別会議室
出席委員	小林委員(委員長)、中野委員(副委員長)、渡辺委員、野村委員、蓮見委員、下村委員、関根委員、楠田委員、今井委員、塚田委員、佐藤委員、稲葉委員、岡安委員、小川委員、蘇武委員、柿沼委員
欠席委員	初見委員、宮本委員、千野委員
傍聴者	なし
事務局	企画政策部 綾部部長 プロジェクト推進課 細見課長、山中課長補佐、海老原係長、小木主査、福田主幹
受託者	シアターワークショップ・日本工営都市空間設計共同体 株式会社シアターワークショップ(TWS) 小池、山本、川本(Web)、森田 日本工営都市空間株式会社(NKU) 矢野(Web)、今吉(記)、佐藤(Web)、若梅
内容	1 開会 2 委員長あいさつ 3 委員紹介 4 議題(1)市民ワークショップニュースレターについて ・資料1 第4回市民ワークショップニュースレター ・資料2 第5回市民ワークショップニュースレター (2)先進施設視察研修について ・資料3 白河文化交流館コミネス視察報告 (3)施設機能の詳細検討・施設規模の検討について ・資料4 第5回市民委員会議題の要約 ・資料5 施設機能の詳細検討・施設規模の検討 (4)基本構想・基本計画における管理運営計画の位置付けについて ・資料6 基本構想・基本計画における管理運営計画の位置づけ(事業実施例含む) 5 その他 6 閉会
小林委員長	【(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会】 (委員長あいさつ) 朝早くからお集まりいただきありがとうございます。久しぶりの会議ということで、未来の公会堂のためにいい議論ができればと思っています。前々回できなかった部分を中心に進めていければと思います。よろしくお願いいたします。

事務局	(委員紹介) 今年度、古河市商工会の会長が変更となりましたので、紹介させていただきます。下村宏幸委員でございます。
下村委員	5月に役員改選で峰委員から交代となりました。まだわからないこともあります、よろしくお願いいたします。
事務局	次に、今年度、人事異動に伴って配属となった職員の紹介をさせていただきます。プロジェクト推進課 主幹の福田でございます。紹介は以上となります。
事務局	議事の「(1)市民ワークショップニュースレターについて」と「(2)先進施設視察研修について」は、報告事項となります。 「(3)施設機能の詳細検討・施設規模の検討について」と「(4)基本構想・基本計画における管理運営計画の位置付けについて」は、5月23日に実施した第5回市民委員会にてお配りした資料と同じものになります。 前々回の委員会では「(3) 施設機能の詳細検討・施設規模の検討について」の小ホールからの議論が途中で、時間の関係から、それ以降が説明だけとなったため、改めて小ホールからの提案に対して、ご意見・ご助言をいただきたいと考えています。 その後に、「(4) 基本構想・基本計画における管理運営計画の位置付けについて」の提案に対しても、ご意見・ご助言をいただきたいと考えています。 毎回話をさせていただいておりますが、10年前の総合的文化施設の白紙撤回を繰り返さないためにも、「市民に応援してもらえる新公会堂の計画を策定することが、実現するためには必要であると考えています。」 市民に応援してもらえる計画になりますように、委員の皆さまにはご意見・ご助言をいただきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。 それでは、議事につきましては、規則に基づき、委員長である小林委員長に進行をお願いいたします。
事務局	《議事》 (1) 市民ワークショップニュースレターについて (2) 先進施設視察研修について
事務局	(1) 市民ワークショップニュースレターについて及び(2) 先進施設視察研修について、資料1から3に基づき説明。
小林委員長	事務局からの報告事項についてのご意見・ご質問や、視察に行かれた方ぜひ皆さんに共有されたいことなどありますでしょうか。
渡辺委員	視察に参加しました。大型楽器の収納スペースが小さく、出し入れなどで不便そうだと感じました。今回の新公会堂では、収納スペースを十分に設け、ピアノだけではなく、ドラムの設置等も検討してほしいと感じました。

小林委員長	共有いただきありがとうございます。
	ワークショップの報告に関して、工事中の現場見学という意見がいいなと感じました。先日まで大分県の史跡整備の場所に行っていたのですが、市民の理解を得るために、整備の段階から情報を市民に伝える努力をされていました。市民の皆さんのための施設として理解していただくためには、そのような努力が必要だと思いました。
小川委員	視察に参加しました。コミネスの建設費用が103億円、うち国費が53億円となっています。同レベルで今回の公会堂を建設する場合、かなり費用がかかるため、古河市でも補助金等の何か手立てが必要と感じました。
小林委員長	2016年からも物価が上昇しており、さらに費用がかかる可能性がありますため、重要なお指摘です。行政の方には考えていただきたいと思います。
TWS	（３）施設機能の詳細検討・施設規模の検討について 資料４にて、前々回の委員会の検討の振り返りを行った。以下、概要。 1. 建設候補地に関する経過報告について 第３回市民委員会以降、「①旧古河体育館跡地」と「②大堤地内」の２か所に絞って候補地を検討してきた。２月末にNTTデータセンター跡地の土地買取希望申出書が提出されたが、金額が割高であることや既存杭が残るなどの条件のため、候補地はこれまでどおり２か所のままとして検討が進むこととなった。 2. ワークショップニュースレターについて これから公会堂を使う中心世代である中高生の意見を聞くことができ、よい機会となった。中高生に足を運んでもらうために、交通手段の確保も進めてほしいとの意見も出た。 3. 施設機能の詳細検討・施設規模の検討について 以下前々回委員会での提案内容。 ・大ホールの客席数は、1,300席程度とする。 ・大ホールの客席の層数は２層とし、バルコニー部分に幕などを設置して１階席利用ができるようにする。 ・舞台の広さは18m×18mもしくは18m×15m程度とする。 ・プロセニウム高さは、10-12m程度とする。 ・舞台袖は利用しやすい広さを確保する。 ・オーケストラピットは原則設けないこととする。（事業費等を鑑み検討する。） ・小ホールについては、平土間ホールの広さ、パーティ利用の対応の程度など、視察の結果も踏まえて再度検討する。 ・管理運営計画は資料説明を行ったが、議論の時間が確保できなかったため、第７回市民委員会（今回）にて議論を行う。

【小ホールについて】

資料 5 の 15 ページ以降小ホール部門から説明を行った。事務局提案内容は以下の通り。

- ・リハーサル室機能を兼ね備えた、多機能型（ロールバックチェア）の小ホールを設ける。
- ・大ホールの舞台と同じ階に設置し、リハーサル利用の利便性に配慮する。

事務局

小ホールの検討内容について補足いたします。

市内の既存施設の小ホールは、音響、控室、使いやすい動線計画などが十分でないことから、新公会堂ではこれらを備えた市民が利用しやすいホールが求められています。また、主に吹奏楽分野からリハーサル機能の設置も求められています。整備面積も踏まえ、ロールバックチェアを用いて小ホールとリハーサル機能を兼ねたスペースとして約 280 ㎡を想定いたしました。なおこの面積は、中央公民館と同程度となっております。

また、大ホールの運用について補足いたします。前々回の委員会で、多様な使い方をしてはどうかという意見をいただき、検討いたしました。事務局は、新公会堂の目指すべき姿やコンセプトである「だれもが気軽に文化芸術を体感し、表現できる空間と、次世代への機会の創出」といった内容をもとに機能を提案しております。本格的な文化芸術の鑑賞ができる設えを目指すために、音響に配慮した内装材や、質感の高い客席の採用を検討しております。

ロールバックチェアについては防災の面から有効であると考え検討しましたが、本格的なホールの設えとする場合、平土間での球技や飲食で利用することは難しいと判断しております。また、大ホールの面積は約 930 ㎡となり小ホールの約 3 倍であるため、導入コスト、維持管理コストもかかると想定されます。現状、平土間とした際に想定できる利用用途はある程度小ホールで実施できるため、小ホールよりも使用料金の高い大ホールを平土間として使用する事例は少ないのではと考えられます。

なお、小ホールはコンセプトである「賑わいがうまれ、活気があふれる「居場所」として、ホール機能だけではなく、新しい活動づくりの場となるようにしていきたいと考えております。

前々回の委員会等において、飲食等のパーティ目的の利用についての意見を多くいただきましたが、事務局としては、大ホールは本格的な文化芸術活動を行うための設えを優先したいと考えております。また、市内の既存施設との機能分担も必要であるため、駅から少し遠いことは懸念ではありますが、パーティ目的の利用としては、とねミドリ館を利用させていただくことを想定しています。今後も、小ホールにおいては可能な範囲で様々な利用方法が対応できるように検討していきたいと思います。

小林委員長

ありがとうございました。皆さまからご意見をいただければと思います。すぐにご意見が無いようでしたら、私から 1 点質問があります。客席の意見がこれまで多いですが、古河市は城下町ですので、伝統芸能をする方は多いのでしょうか。今想定している舞台サイズで、伝統芸能を行うことは可能でしょうか。

TWS	現状、大ホールで提案している舞台サイズであれば、日本舞踊に対応できると思います。能や狂言で使用する所作台、松羽根物等は、備品として整備することが考えられます。
小林委員長	ありがとうございます。皆さまからご意見いかがでしょうか。
渡辺委員	大ホールの大きさは乗せられる範囲が広ければある程度の使い方は可能と感じました。
小林委員長	ありがとうございます。他にご意見ありますでしょうか。他の施設を使っていられればご存じでしょうが、公共のホールは通常飲食はできません。今回は多様な使い方をしてもらうために小ホールでは飲食ができるように考えていく、ということかと思います。
野村委員	パーティ利用の場合、96席は正直少ないと思っています。大ホールでの飲食は難しいということは理解できましたが、小ホールの平土間利用できる面積を増やす場合は、それに応じて席数も増えますか。席数は変えず、平土間利用できる面積を増やすことはできるのででしょうか。
TWS	小ホール空間の面積を増やす場合は席数も増やす方が使い勝手がよいと思います。なお、96席は着座形式を想定しているため、立食パーティ形式の場合は収容人数が増えます。
野村委員	様々な団体で会議等の後にパーティをやる場合は、100席程度では少なく、今の倍の200席程度の収容人数がある方が使い勝手がいいと聞いているため、可能かどうか検討いただければと思います。
柿沼委員	事務局で大ホールや小ホールの位置付けについて検討いただき、主旨は理解できました。先日の白河での視察でも、施設の方の第一声が、「椅子がぐらぐらするんですね」ということでした。反対の意見があったりもしますが、少しでも計画が前に進み、早く建物ができるのが大切だと思いますので、私は事務局の方針で理解しました。
小林委員長	ありがとうございます。パーティ利用の場合は収容人数も大切ですが、その施設に食べ物を入れてくださる業者がいるかどうか等も関係すると思います。
事務局	小ホールの大きさは、可能な限り努力していきたいと思っています。小ホールのロールバックチェアの仕様は、費用面も踏まえて検討したいと思っています。
小林委員長	これを私が発言していいのか、と思いますが、今回はあくまで文化芸術のためのホールとして計画すると理解しています。その一方で、昔の市民会館では、ホールとは別の空間として宴会場が整備されていたと思います。もうなくなってしまいました。足利市民会館などがその例です。結婚式場が街に無い時代に、市民会館にその役割が求められていたのだと思います。今はどちらかというと使われなくなっている状況です。宴会場はホールとは用途が異なり、匂い等の配慮が必要になります。そのような状況がありつつも、今回多様な使い方ができるように限られたスペースで検討していただいていると思います。
TWS	【創造支援部門について】 創造支援部門について説明を行った。事務局提案内容は以下の通り。 ・練習室は市内既存文化施設との機能分担を鑑み、高機能なスタジオを4室程度設ける。

事務局	創造支援部門について補足いたします。練習室についても市民の皆さまから様々な意見をいただいておりますが、市内既存文化施設との機能分担のため、新公会堂においては、高機能なもの、特に市内で不足しているものを補うことを検討しています。具体的には中高生ワークショップやアンケートの意見に基づき、防音機能のある室や、鏡のある室を想定しています。
小林委員長	皆さん何かご意見ありますでしょうか。楽器の設置について事務局ではどう考えているでしょうか。アップライトピアノは設置する予定ですか。
事務局	アップライトピアノの設置は対応する予定です。その他の楽器の設置は検討中となります。ドラムセットなど先進施設視察でいただいた意見も踏まえ考えていきたいです。
小林委員長	スタジオの大きさは具体的にどの程度でしょうか。
TWS	小スタジオの大きさのイメージは、5人組のバンドの1組の練習や、最大10人程度の利用と想定していただければと思います。
小林委員長	ありがとうございます。また、少し細かい別の内容になりますが、小ホールをリハーサル室に使う場合、大ホールと小ホールを同時に貸し出すための仕組みについて、何か考えていることはありますか。
TWS	リハーサル室の利用を優先し、大ホールと小ホールを同時に使う予約を先に開始し、小ホール単独で予約する時期は1か月後ろにずらすことなどが考えられます。
小林委員長	ありがとうございます。 少し別の話もしてしまいましたが、創造支援部門について、今後の文化活動の拠点となるような施設として、皆さんからご意見あればいただきたいと思いますがいかがでしょうか。 特に皆さんからご意見ないようですので、この方向性で進むということで、次の議題に進みます。 【共用部門について】
TWS	共用部門について説明を行った。事務局提案内容は以下の通り。 ・情報スペース・学習スペース・展示スペース・アーカイブ等の機能を有する共用ロビーを設ける。 ・共用部門には飲食機能、託児コーナーを設ける。
事務局	共用部門について補足いたします。エントランスホールの一部や壁面を工夫し、積極的に重ね使いをして効率的に空間を確保していく方針です。また、ワークショップ等でも要望のあるカフェを設け、情報スペース等でも飲食可能な空間となるよう想定しています。さらに、子供の安全性を確保するため、託児スペースを設けることを想定しています。
小林委員長	ありがとうございます。ホールという施設は、イベント開催時にしか人が来ないことが多いです。この施設いいよね、と思ってもらうためには、やはり幅広い人に来てもらえるスペースを作ることが必要だと思います。白河文化交流館コミネスでも、ロビーで学

	生が勉強していたと思います。私が先日訪れた松本の博物館は2階・3階に展示室があり、1階は情報スペースやショップで市民が自由に使えるスペースになっており、大変賑わっていました。ただ施設に来てもらうだけではなく、自然と2階の常設展に興味を持ってもらえるようになる。そのような点からも共用部門は大事ですので、皆さんの意見をいただきたいです。使ってもらう人のことを考えてこんなものがあつたらいいな、といったことでもよいと思います。
塚田委員	前回の総合的文化施設の計画では図書館と併設する案でしたが、金銭面でも大変かとは思いますが、今回はどう考えているのでしょうか。
事務局	図書館を所管する部署の教育委員会に確認してみると、施策として図書館の新設よりは電子図書の活用を優先して進める方針と聞いています。
小林委員長	図書館のレベルまでではなくとも、情報スペースを限定的に図書スペースとして関連書籍を置くなどのことは考えられます。図書館になるとかなり規模が変わるかなと思いました。現在の所管部署の方針として報告いただき、ありがとうございました。
今井委員	資料5の面積パターンに関して、Bパターンで提案いただいていると思いますが、エントランスは広い方がよいと思います。共用部門はAパターンの面積を確保することはできますか。飲食に関してはレストランまでは不要と思います。
TWS	パターンはあくまで一例ですので、今後の配置検討でいただいた意見を検討したいと思います。
楠田委員	託児スペースに関して、演目に応じてスポット的に使用できる場合がありますが、その機会は多くないと思います。託児スペースとして面積を確保するのであれば、スポット的ではなく、施設専用の常設としていつも活用できるようにしてほしいと思います。
小林委員長	運営の方に関わる内容ですね、ご意見ありがとうございます。
中野委員	エントランスの有効利用に関して、情報スペース・学習スペース・展示スペース・アーカイブ等を充実させるためにも、共用部門の面積をAパターン（860㎡）にして、飲食は50㎡のカフェ相当のままにすると出入りもしやすく、よいと思いました。
小林委員長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。展示スペースの内容はどのようなものを想定していますか。
TWS	資料5の30スライド目の写真のようなイメージです。ワークショップの成果の展示や、市の特産品の展示などができる棚などを想定しています。
小林委員長	チケットを購入して観覧するギャラリーとまではいかないイメージですね。ありがとうございます。他に意見はありますか。このような視点が足りないのでは、など。特に無いようですので次の議題に進みます。
TWS	【配置検討について】 配置計画について説明した。概要は以下の通り。 ・機能図の詳細版であり、今後具体の配置を検討する。 ・施設内のゾーニング方針は、来場者動線・管理動線の分離、施設の利便性の確保を重視する。

事務局	・敷地に対する施設配置方針は、安全に配慮した動線計画、搬入動線、利用者の車寄せ等の確保、各種法令遵守のために必要な建築可能範囲を考慮する。 配置計画について補足いたします。施設の円滑な運用をするためには、安全性や使い勝手を考慮した来場者・管理者の動線が重要と考えています。また、施設が円滑に機能するための諸室のつながりも考慮したいと思います。また、白河文化交流館コミネスの職員から、「多人数が一度に来場するため、来場者の動線が特に重要」というアドバイスをいただきました。施設の機能規模を踏まえ、今後具体的なゾーニング計画を進めていきたいと思います。
小林委員長	ゾーニングは専門的な内容になりますが、施設を使う立場、観客の立場で意見をいただきたいです。
今井委員	市民の皆さんに公表する資料と思いますが、「障がい者P」の表現はよくないと思います。高齢者や乳幼児など、多様性への配慮が必要だと思います。表現に気を付けていただきたい。
小林委員長 楠田委員	とても重要なお指摘です。ありがとうございます。 搬入スペースが大小ホール同じ場所から入る動線となると非常に心配です。メインとなる入口は1箇所でも、小ホールのための入口は別に設けられているなど、各々の演目の音や搬入作業が影響しないように配慮していただきたいです。
小林委員長	その通りだと思いました。 私からも一つ教えてください。トイレはどのように考えているのでしょうか。イベントで一斉に利用する人も多いため、女性用のトイレの数が不足するなど、配置や数が重要になります。
TWS	トイレはゾーニング図に表現されていないものになりますが、大ホール・小ホール・共用部門にそれぞれ配置する想定です。 なお、この図は1階部分を平面的に表現しているものではありません。今後、いくつかの階層の中で、このゾーニング図に示す動線・諸室の関係性等を確保しつつ配置を進めていきたいと思います。
小林委員長	ありがとうございます。トイレの計画は本当に重要で、施設が開館してから問題になりやすい箇所でもあるため、今後検討をお願いします。
小川委員	楽屋が小ホールと大ホールが分かれて完全に分離している考え方の中で、中央にどちらも共通で使う搬入エリアがある計画になっており、いいなと思いました。ただし、先ほどあったように搬入口だけはわけていただきたいと思います。
稲葉委員	非常口をはっきり記載していただきたいです。
TWS	具体的な検討に入ってから進めますが、防災・避難の観点でも配慮して計画を進めたいと思います。
渡辺委員	ホールでイベントを行うと思いますが、周辺にキッチンカーが来た時など、中と外のイベントがしやすいような配置を考えていただきたいと思います。
小林委員長	共用部門の話と関連すると思いますが、防災機能だけではなく、イベントもできるような機能も想定できるとよいと思います。他にご意見はありませんでしょうか。

事務局	ここまで決定した内容について再度を確認させていただきたいと思います。 ・大ホール：客席数は1300席程度、2層バルコニー形式でバルコニー部分に幕などを設置して1階利用もできるようにする。舞台の広さは18m×18mもしくは18m×15m程度とし、舞台のプロセニウムの高さは10～12m程度、舞台袖は利用しやすい広さを確保する。オーケストラピットは原則設けないこととする。ロールバックチェアは設けないこととする。 ・小ホール：リハーサル室機能を備えた多機能型（ロールバックチェア）とする。 ・創造支援部門：高機能なスタジオ4室程度を設ける。 ・共用部門：重ね使いをして効率的に共用ロビーに配置。広さは大きく確保できるか検討。託児所は常設で検討。 ・配置計画：ゾーニングはいただいた指摘踏まえて検討を進める。
小林委員長	皆さま、よろしいでしょうか。 （委員から異議なし）
TWS	（４）基本構想・基本計画における管理運営計画の位置付けについて 資料６に基づき説明。
小林委員長	何かご意見ありますでしょうか。大きくは、直営か指定管理者かという話があります。民間の大手の指定管理者のノウハウは近年上がっており、様々なコンサートができますが、地域固有の特色を出すことは苦手です。その点をどのように補完するかが大事です。一方、直営は、一般の職員の方ですので、専門性や長期的な目線が不足します。多くの施設は指定管理者かと思います。ただし、指定管理者を選ぶときにはコンセプト等を明確に示すことなどが重要だと思います。
蓮見委員	第３セクターで行政と一緒に活動している団体の、株式会社雪華があります。参考にいただければと思います。
渡辺委員	技術的な面でいえば、外部の人を入れる必要があると思います。ただ、古河の文化、特に歴史などを取り入れられるようにしてほしいです。 運営に関わる若手の次世代が育ちつつあるという手ごたえもありますので、ジュニア合唱団や劇団など、子供たちに向けたグループを作り、運営できるスタッフにしてほしいと思います。
小林委員長	外部の専門家も地域のことを考えてくれると思いますが、市民の方でなければ分からない部分もあると思いますので、取り入れられるようにしてほしいと思います。
野村委員	事業方針案にある、「古河関東ド・マンナカ祭りとの連携」とはどのようなイメージか教えてほしいです。
TWS	イベントを限定しているのではなく、既にあるイベントとどのように連携していくか、を考えていきたいと思っています。ド・マンナカ祭りはあくまで例となります。
野村委員	古河市にはド・マンナカ祭りだけでなく、古河よかんべまつりやさんさんまつりといった各地域のお祭りもありますので、市の方に確認していただいて、表記は調整してほしいです。

小林委員長	今後どのようなことをするか、ソフトの面でも具体的に考えていく必要がありますね。その他意見はありませんか。それでは事務局に議事をお返しいたします。
事務局	(その他) 事務局から連絡があります。第8回委員会は日程調整中です。決まり次第ご連絡いたします。本日はありがとうございました。
	以上